平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場会社名　青山商事株式会社　　上場取引所　東
コード番号　8219　URL　http://www.aoyama-syouji.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長兼執行役員社長　(氏名) 青山　理
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役兼専務執行役員　(氏名) 宮武　真人　TEL 084-920-0050

四半期報告書提出予定日　平成25年8月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	51,516	△0.4	4,651	△9.0	5,482	13.1	3,170	24.2
25年3月期第1四半期	51,728	4.9	5,112	19.7	4,845	9.7	2,551	5.5

(注)包括利益　26年3月期第1四半期　3,484百万円　(45.8%)　25年3月期第1四半期　2,390百万円　(13.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	52.08	51.67
25年3月期第1四半期	40.82	40.80

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	333,041	240,861	71.6	3,916.38
25年3月期	344,373	240,027	69.0	3,918.00

(参考) 自己資本　26年3月期第1四半期　238,563百万円　25年3月期　237,649百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	20.00	―	40.00	60.00
26年3月期	―				
26年3月期(予想)		25.00	―	45.00	70.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	91,500	2.9	3,200	△19.3	4,000	12.6	1,900	4.2	30.81
通期	220,000	3.6	21,500	1.1	22,900	△7.0	13,100	3.8	212.41

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.5「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	67,394,016 株	25年3月期	67,394,016 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	6,479,679 株	25年3月期	6,738,329 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	60,872,304 株	25年3月期1Q	62,503,874 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 5
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 5
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 5
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 5
３．四半期連結財務諸表 …… 6
（１）四半期連結貸借対照表 …… 6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 8
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 ……10
（継続企業の前提に関する注記） ……10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……10
（重要な後発事象） ……10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

≪セグメント別業績≫ （単位：百万円）

	売上高				セグメント利益（営業利益）			
	当第１四半期	前第１四半期	増減額	前年同期比(%)	当第１四半期	前第１四半期	増減額	前年同期比(%)
紳士服販売事業	41,856	42,587	△730	98.3	4,042	4,540	△497	89.0
カード事業	899	821	77	109.4	199	101	97	196.1
商業印刷事業	2,877	2,726	151	105.6	219	117	102	187.3
雑貨販売事業	4,069	4,226	△156	96.3	177	204	△26	87.0
その他	2,999	2,404	594	124.7	△4	123	△127	―
調整額	△1,185	△1,038	△147	―	17	25	△8	―
合計	51,516	51,728	△211	99.6	4,651	5,112	△460	91.0

（注） セグメント別売上高、セグメント利益（営業利益）はセグメント間取引相殺消去前の数値であります。

＜紳士服販売事業＞

〔青山商事(株)スーツ事業、ブルーリバース(株)、(株)エム・ディー・エス、(株)栄商、服良(株)〕

当第１四半期連結累計期間（平成25年４月１日から平成25年６月30日まで）におけるわが国経済は、昨年末以降、政権交代による経済政策への期待感から、円安が進み、株価も上昇するなど、景気回復の期待感が高まる一方で、長引く欧州債務問題や新興国の景気減速などによる世界経済の減速懸念などから、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当事業の中核部門であります青山商事(株)のスーツ事業につきましては、一都三県を中心とした着実な出店、移転等を実施するなどマーケットシェア拡大を図るとともに、クールビズ商品等に関連した販促をテレビCMを中心に展開いたしましたが、スーツなどが低調に推移したことなどから、既存店売上高は前年同期比97.0%となりました。

なお、４月から６月までの３ヶ月間のメンズスーツの販売着数は前年同期比90.1%の563千着となりました。平均販売単価は前年同期比104.8%の24,636円となりました。

当第１四半期（４月～６月）の店舗の出退店等の状況につきましては、以下のとおりであります。

＜スーツ事業の業態別、出退店等の状況及び期末店舗数（平成25年６月末現在）＞ （単位：店）

業態名	洋服の青山	ザ・スーツカンパニー	ユニバーサルランゲージ	ブルー エグリージオ	合計
出店〔内 移転・建替〕（４月～６月）	７〔２〕	０	１	１	９〔２〕
閉店（４月～６月）	０	０	０	０	０
期末店舗数（６月末）	751	39	６	４	800

こうしたことから、当事業の売上高は前年同期比98.3%の418億56百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比89.0%の40億42百万円となりました。

＜カード事業＞〔(株)青山キャピタル〕

当事業につきましては、改正貸金業法等の影響などがある中、売上高は前年同期比109.4%の８億99百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比196.1%の１億99百万円となりました。

なお、平成25年５月末現在の「ＡＯＹＡＭＡカード」の有効会員数は366万人となりました。

＜商業印刷事業＞〔(株)アスコン〕

当事業につきましては、新規取引先の受注増などにより、売上高は前年同期比105.6%の28億77百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比187.3%の２億19百万円となりました。

＜雑貨販売事業＞〔(株)青五〕

当事業につきましては、業界内の競争激化などにより、売上高は前年同期比96.3%の40億69百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比87.0%の１億77百万円となりました。

店舗につきましては、当第１四半期（３月～５月）に１店舗を開店したため、平成25年５月末の店舗数は132店舗となりました。

＜その他＞〔青山商事(株)カジュアル・リユース事業、(株)イーグルリテイリング、(株)glob〕

その他の事業につきましては、売上高は前年同期比124.7%の29億99百万円、セグメント損失（営業損失）は４百万円（前年同期はセグメント利益（営業利益）１億23百万円）となりました。

青山商事(株)カジュアル・リユース事業につきましては、既存店売上高は99.0%となりました。

当第１四半期（４月～６月）の店舗の出退店等の状況につきましては、以下のとおりであります。

＜その他に含まれる業態別、出店、閉店、期末店舗数（平成25年６月末現在）＞ （単位：店）

	青山商事(株)　カジュアル・リユース事業				(株)イーグルリテイリング	(株)glob
業態名	キャラジャ	リーバイスストア	セカンドストリート	ジャンブルストア	アメリカンイーグルアウトフィッターズ	焼肉きんぐ
出店（４月～６月）	0	0	0	0	1	1
閉店（４月～６月）	0	0	0	0	0	0
期末店舗数（６月末）	25	5	3	2	6	10

＜連結経営成績＞

上記の結果、当第１四半期連結累計期間の当社グループにおける売上高は前年同期比99.6%の515億16百万円、営業利益は前年同期比91.0%の46億51百万円となりました。

経常利益は、「包括的長期為替予約契約(クーポンスワップ契約)」等に係るデリバティブ評価益３億34百万円(前年同期はデリバティブ評価損５億41百万円)を営業外収益として計上したことなどにより、前年同期比113.1%の54億82百万円となりました。

特別損失では、減損損失１億11百万円などを計上いたしました。

この結果、四半期純利益は前年同期比124.2%の31億70百万円となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期連結会計期間末における資産について、流動資産は1,755億38百万円（前連結会計年度末比98億99百万円減）となりました。主な要因は、現金及び預金が51億62百万円、受取手形及び売掛金が29億52百万円、有価証券が69億84百万円それぞれ減少しましたが、営業貸付金が44億15百万円、仕掛品が５億15百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は、1,574億94百万円（前連結会計年度末比14億27百万円減）となりました。主な要因は、投資有価証券が10億47百万円、投資不動産が10億７百万円それぞれ減少しましたが、有形固定資産が10億７百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は3,330億41百万円（前連結会計年度末比113億31百万円減）となりました。

負債について、流動負債は808億２百万円（前連結会計年度末比31億66百万円減）となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が27億61百万円、短期借入金が４億円、未払法人税等が69億55百万円それぞれ減少しましたが、１年内償還予定の社債が90億円増加したことによるものであります。

固定負債は、113億77百万円（前連結会計年度末比89億99百万円減）となりました。主な要因は、社債が90億円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は921億79百万円（前連結会計年度末比121億66百万円減）となりました。

純資産合計は、2,408億61百万円（前連結会計年度末比８億34百万円増）となりました。主な要因は、利益剰余金が６億35百万円増加し、自己株式による減少額が４億24百万円減少しましたが、新株予約権が２億28百万円減少したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料の発表日現在におきましては、平成25年５月10日に発表した連結業績予想を変更しておりません。なお、業績予想におけるデリバティブ評価損益につきましては、平成26年３月末の為替相場、日米金利差が平成25年３月末と不変であるとの前提のもとに、通期で５億90百万円のデリバティブ評価益(営業外収益)を予想しております。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	40,306	35,143
受取手形及び売掛金	14,126	11,174
有価証券	44,195	37,210
商品及び製品	41,693	41,441
仕掛品	1,137	1,652
原材料及び貯蔵品	520	501
営業貸付金	38,743	43,158
その他	4,964	5,502
貸倒引当金	△249	△246
流動資産合計	185,437	175,538
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	52,135	52,063
土地	33,098	34,175
その他（純額）	7,183	7,186
有形固定資産合計	92,417	93,425
無形固定資産	3,145	3,043
投資その他の資産		
敷金及び保証金	26,350	26,256
その他	37,109	34,870
貸倒引当金	△101	△101
投資その他の資産合計	63,358	61,025
固定資産合計	158,922	157,494
繰延資産合計	13	8
資産合計	344,373	333,041
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,981	17,219
短期借入金	14,100	13,700
1年内償還予定の社債	13,000	22,000
未払法人税等	9,149	2,193
賞与引当金	1,335	347
その他	26,403	25,341
流動負債合計	83,969	80,802
固定負債		
社債	9,000	－
退職給付引当金	3,726	3,768
ポイント引当金	2,854	2,824
その他	4,795	4,783
固定負債合計	20,376	11,377
負債合計	104,346	92,179

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	62,504	62,504
資本剰余金	62,890	62,526
利益剰余金	144,757	145,392
自己株式	△17,472	△17,048
株主資本合計	252,679	253,374
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,326	1,411
繰延ヘッジ損益	△1	10
土地再評価差額金	△16,459	△16,459
為替換算調整勘定	104	226
その他の包括利益累計額合計	△15,030	△14,810
新株予約権	394	166
少数株主持分	1,984	2,131
純資産合計	240,027	240,861
負債純資産合計	344,373	333,041

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日）
売上高	51,728	51,516
売上原価	22,303	21,733
売上総利益	29,425	29,783
販売費及び一般管理費	24,312	25,131
営業利益	5,112	4,651
営業外収益		
受取利息	134	95
受取配当金	83	76
デリバティブ評価益	－	334
不動産賃貸料	188	224
為替差益	－	204
その他	180	99
営業外収益合計	587	1,034
営業外費用		
支払利息	33	32
デリバティブ評価損	541	－
不動産賃貸原価	148	151
為替差損	42	－
その他	88	20
営業外費用合計	854	204
経常利益	4,845	5,482
特別利益		
固定資産売却益	－	5
特別利益合計	－	5
特別損失		
固定資産除売却損	37	1
減損損失	123	111
投資有価証券評価損	298	－
特別損失合計	458	113
税金等調整前四半期純利益	4,387	5,374
法人税等	1,744	2,113
少数株主損益調整前四半期純利益	2,642	3,261
少数株主利益	90	91
四半期純利益	2,551	3,170

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	2,642	3,261
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△294	85
繰延ヘッジ損益	△10	12
為替換算調整勘定	53	125
その他の包括利益合計	△251	223
四半期包括利益	2,390	3,484
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,299	3,389
少数株主に係る四半期包括利益	90	94

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、平成25年５月10日開催の取締役会決議により、会社法第165条第３項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得を実施し、当第１四半期連結累計期間において自己株式が1,547百万円増加しております。

また、ストック・オプションの行使による自己株式の処分に伴い、当第１四半期連結累計期間において自己株式が1,971百万円減少しております。

この結果、当第１四半期連結会計期間末における自己株式は17,048百万円となっております。

（重要な後発事象）

会社法第165条第２項の規定による定款の定めに基づく自己株式の取得

当社は、平成25年８月９日開催の取締役会において、会社法第165条第３項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議いたしました。

１．自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能とするために自己株式の取得を行うものであります。

２．取得内容

（１）取得する株式の種類	当社普通株式
（２）取得する株式の総数	50万株（上限） （発行済株式総数に対する割合　0.74%）
（３）株式の取得価額の総額	15億円（上限）
（４）取得する期間	平成25年８月13日～平成25年８月30日
（５）取得方法	東京証券取引所における市場買付